

グループホーム フェニックス苑

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		公園での散歩、スーパーへの買い物、道の落ち葉かきや、ゴミ拾い等の活動を行い地域の中でその人らしく暮らすように努めている。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		日々の業務で笑顔と尊敬、尊厳、安全の理念を共有し実践している。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		フェニックス苑だよりによる広報に努めている。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		当苑のすぐ前に公園があり園児の遊び声が聞こえている気候の良い時季に見学交流したい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		正月行事のどんど焼に参加又、春の清掃行事にも参加。一つずつでも参加の場を増やして行きたい。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在の所取り組みの予定なく出来ていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で自己評価に取り組み評価の意義や理解に努めている。外部評価の結果は、ミーティングを行い家族会に報告し改善を図っている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では当苑の現状報告と今後の課題を検討し各委員の建設的な意見をサービス向上に活かしている。		運営推進では外部からの助言や意見を傾聴し、運営に活かすよう取り組んでいきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	あんしん介護相談員との意見交換会、サービス事業者会議、認知症ケア研究会等で情報交換を行っている。今後は社会資源の窓口、連絡相談の窓口として連携を図って行きたいと考えている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護全般に関して、外部や内部研修会で職員の意識向上に努めている。法人に関わる弁護士が年に一回グループホームを訪問し、家族の相談に対応できる体制がある。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	テレビや新聞等で虐待の事例が出た時、カンファレンスで取り上げ、全員で考え意識交換を行い適切な介護を行うよう注意を払っている。		日常介護の中で、職員同士で虐待の事例にあたらぬが常に防止の姿勢を持ち続けるよう取り組んでいる。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に入居者家族の方への十分な説明を行い理解納得された事で確認をし同意を得ている。</p>		<p>契約時の内容に関する事を全面的に疑問点や相談を応じるようにしている。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見、不満等を言いやすい雰囲気と家族面会、家族会の時に何か言いたい事聞きたい事を気持ちよく聞くようにしている。又、あんしん介護員の定期的な来苑を受け入れ、利用者の相談相手になっていただいている。</p>		<p>当苑の玄関にてご意見箱を設置している。利用者、意見、不満等を家族面会時、気付かれた事を対応している。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に一度「フェニックス苑だより、日常や行事等の写真同封」家族会の報告ご近所の報告も行っている。面会の時に暮らしぶりや健康状態又は必要に応じて電話報告も行っている。</p>		<p>フェニックス苑だよりにて家族宛に写真を貼付している。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱の設置(玄関にて) 2ヶ月に一度の家族会にてご意見交換をもとに改善し、運営面の充実を図るようにしている。</p>		<p>ご意見箱を玄関に設置している。 2ヶ月に一度の家族会の時に意見交換をしつつ改善を努めている。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のカンファレンスの時や連絡ノートに意見や提案を述べてもらい皆で検討し、建設的な意見を運営に反映させている。</p>		<p>事業所全体の会議において意見交換を積極的に運営に反映している。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>変化、要望、行事参加、会議等に対応するよう職員を増員させるなどの出来るだけの職務調整を可能に努める。</p>		<p>変化、要望に対応できるよう勤務調整を可能させる。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>昨年9月より専任体制となり、職員の兼務はなくなった。離職者はみられるが兼務がなくなった事で職員の支援も充実してきた。</p>		<p>専任体制となり利用者との馴染の関係が出来て又、受持ち制度を導入して支援を行って行きたい。</p>

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の採用に関しては、資格者を優先にしているが年齢や性別などは規定していない。常に経験や実績など配慮し又、能力を持っていれば發揮できるように配慮している。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>毎月一回第4金曜日に各グループ全体で研修会の中で活動している。</p>		<p>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プライバシーの保護と取り扱いについて」 ・「身体拘束について」等取り組んでいる。
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部、外部の研修に参加し毎月伝達研修を行い、研修内容が業務に活用されるように職員全体の意識向上に努めている</p>		<p>研修は毎朝のカンファレンスのの中で取り上げた研修内容に取り組んでいる。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>サービス事業者協議会、認知症ケア研修会に加入し研修の機会を通じて同業者とも情報交換を行うようにしている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>勤務時間内の職員の言動、体調等の観察を良く行い、常に意識の向上を心がけている。</p>		<p>相談や心配等の環境を職員全体で取り組んでいる。</p>

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎日自己啓発票の提出を促し、努力の成果、反省、要望、検討事項等を把握し改善に向けて取り組んでいる。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所者に必ず事前に面談を行い、ご本人の話を傾聴し、生活、状況、状態の把握に努めて又、少しでも入所当初の不安混乱を緩和するよう心がけている。		常に会話を持つ事を心がけています。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族会や面会、お便り等で家族との交流の場を持つ事により生活の状態を知って頂いています。又、家族の要望や相談に解くように努めている。		入居後、不安や要望等ある場合は尋ね、声掛けて頂く様努めている。
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用申し込みや相談を受けた時に現在のご本人さんご家族の状況等を聞きその時点で何が心配か相談に乗り紹介している様にしている。		家族での問題点を伺い当事業所として出来る限りサポートさせて頂くよう心がけている。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人やご家族に見学に来て頂き、少しでも職員や他の利用者と馴染める様に心がけている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の困っている時や落ち着きのない時は、ゆっくりと話を聞く様心がけています。又、家族より昔の話、体験談等を聞かせて頂き、私達も勉強になり入居者の笑顔も見れます。		

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	お便り、電話、面会を通じて、日々の生活状態を報告しております。又、催しにも声掛け参加して頂いてます。その際、ご家族の意見や希望をお聞きし本人希望に近づける様心がけております。		ご家族によりコミュニケーションを図りご家族と一緒に本人を支えて行きたい。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居後は、気楽に面会に来て頂ける雰囲気作りを心掛けています。又、ご家族と外出、外泊等楽しいひと時を過ごして頂いています。		症状の進行や変化がみられ、どのような時期であっても、家族とよりよい関係がもてるよう支援して行きたい。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、友人、知人の面会は歓迎しています。又、地域の祭り、買い物、散歩等地域の方との交流も喜ばれています。本人様の想いに応えられる様支援しています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	テーブル、ソファー等の位置等、その時の心身の状況と把握し、席を変えてみたり本人様達で変わられています。又、職員が間に入り利用者同士が助け合いよい関係が出来る様努めています。		ホール内にて自由に意見を言える雰囲気作り。又、発言を促している。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も情報交換を行い、いつでも立ち寄って頂ける様声掛けをしています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族より生活歴や住宅での生活の様子と意向、現在の心身状況を把握し、日々の生活の中で変化があればその都度職員間で本人本意での対応が出来る様心掛けている。		処遇困難なケースは家族や職員間で検討し、本人お望みをかなえるように安全、安楽な生活が出来るように対応して行きたい。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、家族の面会時又、必要のある時電話等で在宅で生活の様子、生活歴、性格又、在宅サービス医療面等の把握に努めている。		家族本人の苑での生活の様子や体調面等を報告、又相談してケアの質の向上を図っている。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の状況(体調面、精神面)の変化を把握し、その情報をスタッフ間で共有しケアすることでチームケアの充実を図っている。		心身の状況の変化を申し送りノートに記録し個人の介護日誌を記録する事によりスタッフ間で情報の共有を図っている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が本人らしく毎日暮らしていけるよう、本人、家族の意向を聞き、スタッフ間の意見、アイデアを出し合い介護計画を作成している。		センター方式を取り入れて介護計画を立てるのがベストと思われるがまだ、取り掛かったばかりで進展しない。今後の検討課題。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	身体面、精神面に著しい変化が現れた時、本人、家族、Dr、スタッフ間の話し合いにより新たな計画の作成を行っている。		介護計画書を家族に渡す時点で内容について十分な説明が出来にくい家族があり今後の対応を考慮している。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の記録を個人の介護記録に記入し、介護実践表のチェックすることで介護計画が適切であるかをチェックしている。		介護の実践表でチェックすることにより不要なもの又、取り入れたい項目をチェックする必要がある。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療法人運営で理事長が内科医であり毎日のバイタルの報告、往診により健康管理は十分に実施できている。デイサービスの行事に参加、交流している。花の里祭りや花見等に家族参加されている。		地域公民館行事(どんど焼)参加。 花見や大蛇見学に出掛け地域の方との交流を図っている。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議の中で民生委員や町内理事、市の方達により情報を得ている。又、広報大牟田の情報も活用している。		正月に公民館行事。 5月に地域清掃に参加。 7月の祭りの大蛇山見物は雨天の為中止。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現状では地域の他のサービス事業者との話し合いはあまりないが、ホームの空き状況や待機申し込み時、情報交換している。		市主催の認知症の人の為のケアマネジメント、センター方式実践発表会がその前の研修会(5ヶ月間)で他のケアマネジャーやサービス事業者との情報交換が出来た。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加中。会議の際、ケアマネジメントについての意見交換を行い参考になっている。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日常の健康管理は、かかりつけ医のクリニックDrにより適切な医療を受けている。必要時に他病院受診も実施している。		かかりつけ医の毎日の往診があり適切な医療を受けられている。又、家族が望まれた時は看取り介護も実施している。
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医への受診はなし、クリニックDrに状態報告、相談診察受けている。		可能であれば認知症専門医に受診して診断、治療方針が受ければよいと思う。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師でもある管理者やクリニックの看護師が業務を行い、日常の健康管理や医療活用の支援を行っている。		現在の看護師との協同を今後も維持して行きたい。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者の入院時、その病院に利用者の容態などを随時聞き、病状の把握をしている。利用者が安心して退院出来る様に又、退院後の受け入れ準備をしている。</p>		<p>家族、入院先との連絡を密にする。 退院に向けての準備をする。(心身の状態の把握など)</p>
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化、終末期において本人及び家族の意向希望を確認している。医師からの説明、同意を行いスタッフに周知させている。</p>		<p>身体的な苦痛、精神的な苦痛の緩和を図ることが出来る様に、スタッフ全員の知識の向上。</p>
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度化、終末期のあり方については、契約者医療機関との連携の中で職員と対応について協議し、医療担当者の助言を求めて家族の希望を受け入れる方向である。</p>		<p>重度化した場合や終末期に向けては早い段階にて、家族、かかりつけ医などケア関係者と話し合い医療処置対応書類などを設備していくことに取り組んでいく。</p>
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>退去時は、家族の相談に応じ、転入先の関係者との情報交換を密に行い、ケアに役立てて頂くよう努めている。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の人格尊重を重視し、プライバシーを守る。利用者の言葉かけには、人格を損ねないように気をつけている。</p>		<p>利用者個人個人。 性格と習慣を把握する。 今後も継続していく。</p>

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活している中で利用者の話に耳を傾け、希望、意向に近づく様心掛けている。		利用者自ら進んで掃除、食器洗い、洗濯物、たたみ等して頂いており職員は感謝の気持ちを伝えている。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴、散歩、買い物、個別活動などで入居者の体調、気分に合わせて重度化に応じた支援に取り組んでいる。		入所者の介護度に応じた個別的な支援が望まれる。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	苑にて職員が本人の希望を聞いて散髪している。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が調理に関わる時間が取りにくく、食事は厨房で作ったものを利用している。無理のない範囲で準備、片付けの声掛けをしている。		利用者全員が同じホール内の食事するよう心掛けています。介助の方は誤嚥に注意しながら楽しく食事して貰っています。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	毎日、利用者の体調に合わせて、朝の水分補給、おやつを楽しんで頂くよう支援している。又、家族会など催しがある時、体調を見てビールで乾杯して頂いている。		朝の水分補給のミルクコーヒー、飲み物、手作りおやつを体調に合わせて職員と一緒に作っています。
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自分で排泄が出来る方は出来るだけ実行させて、介助が必要な方は様子を見ながら排泄の方を支援している。		

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は日曜日以外毎日の様に体調に応じて入浴できるようにしている。本人の身体の様子見る。本人の状況を見ながら本人希望通りに施行する。		利用者さん体調を重点にして1日に3人位入浴して頂く。利用者に合わせながらお話して楽しく入浴して頂く。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1日1日生活習慣で毎日の状況に応じて安心して穏やかな気持ちでゆっくりと休息して眠れる事を支援している。		利用者の体調や生活習慣を考慮して季節に応じた寝具や室温の調節を行い休息や安眠を図っている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者さん個人個人にあった活動して頂き体調に合わせて楽しく、笑いながら過ごして頂く。		利用者に合わせ好きな事やして頂く。おやつ作りや洗濯物たたみなど楽しみでして頂きます。介護者、一緒になって何事にも取り組みしています。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入所者のご家族の方が所持されている方は本人に大切さを理解して頂き、他以外の方はお金の所持はないようです。		入居者の所持金等は家族と本人のご理解の上職員の方で一時預かりたいですが、もし必要とすればご家族持参して貰う事にしたいです。本人さん一緒に買い物に行く。品物も支払いもして頂く。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	戸外に出掛けるのを日課にしている入所者もおられ、庭で草取りなど利用者の体調に合わせて施行する。		利用者に合わせ車イスで外庭に出たりして外を眺めて頂く。利用者さんが一人で出来る人は介助する。一人に一人介助して本人にまかせ外庭で過ごす。楽しく過ごされる。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の体調気分に応じて一人に一人介助し公園、スーパー、散策に出掛ける。車イスの人は車に乗せ楽しく過ごして頂く。		車イスにて花見、ひまわりやこすもすや三池初市や夏祭り、正月はお宮参りをする。利用者は楽しく昔の事思い出される。にっこりされてある。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望される時はダイヤル本人さんと代わり電話していただいている。本人直接ダイヤル回される時は見守っている。		家族の事訴え多い時は電話番号回し本人さんと代わる。本人さんが直接電話番号回される。相手の方が留守の時は本人さんより代わり留守の事納得して頂く。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつも面会を受け入れホール、居室等で本人さんは、お茶を飲まれ、お菓子を食べながらゆっくり過ごされる。		本人さんの居室に入られゆっくりと過ごされる様に試みる。本人さんの居室には面会時出入りしないようにする。帰られる時に本人さんの感想を聞かせて頂く。
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束について」の研修を行い、何が拘束となるのか理解し行わないことを実践している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は日中施行せず自由に出入り出来る様に介護者が気配りする。		利用者が玄関に何回でも出入りされる時は介護者が付き添い外に出る。本人が中に入られるまですぐそばで見守りする。安心される。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間入居者に応じて対応する。目配り気配りをしっかりと介護者が心掛ける。物音、足音がすれば、すぐに入室し確認する。		24時間目配り気配りをする。つねに見守し、咳だけでも入室し身体の様子を見る。何か起こった時は、すぐにDrに報告する。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	介護者が整理、整頓と同じ場所に必ず置く様になっています。物音、足音が合った時は入室する。		一人ひとりに応じて対応するようにしています。小さい入れ物に小分けしている。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	居室、ホール等危険な物は置かない様になっています。転倒、窒息、誤薬のないように名前呼び確認する。投薬時は、介護者が責任を持って投薬する。		一人分だけ持って行き、確認して服用して頂く。常に心がけ一人ひとり存在を確認する。目配り、気配りを常に心掛けています。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	一人ひとりの身体的な把握を頭の中に入れ緊急時に備え、勉強し訓練を定期的に行っている。		利用者の急変や事故発生を提案した訓練を行い、慌てないで行動出来るようにしていきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	介護者全員が避難経路を把握し誘導できるよう訓練している。外部に一秒でも早く知らせよう心掛ける。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	面会時に変わったことがあった場合は記録する。抑圧感のない介護を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人一人の健康チェックを日頃、バイタル表で行っている。利用者の体調に変化があった場合は、かかりつけの医師に報告、その後指示をあおぐ。周囲の職員にも申し送る。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人が与薬をする。薬の内容の把握、状態の変化の確認をする。必ずかかりつけ医師の指示に従い服薬する。副作用があらわれた場合は、かかりつけの医師に連絡報告する。		利用者の病歴を知り、内服している薬の効果、副作用、用量などを確実に把握していきたい。利用者の顔と名前、名前が書いてある薬袋を間違えないように声を出していきたい。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便表を見てから3日目に排便がない時は看護師に連絡、医師の指示を仰ぐ。周囲の職員に申し送る。利用者一人ひとりなるべく水分をとって頂く。		

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、緑茶でうがいをする。 義歯の方も緑茶うがいをし、義歯の仕上げ洗いはスタッフが行う。		毎食後、緑茶うがい、義歯の仕上げ洗いをすることで口の中が清潔に保たれる。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者に応じて刻み食やミキサー食にし、全て摂取できるようにしている。水分補給の時間を1日何回か決め、全ての入居者が水分補給できるようにしている。		食事摂取量は毎食必ず全員確認し摂取量の少ない入居者には経口栄養剤を飲んで頂く様に工夫する。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗いは必ず行う。 清潔、不潔を分け感染予防に心掛けている。 オムツ交換時など必ず手袋する。		個人個人が感染予防に徹底する。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食事は2時間を限度とし、それ以上時間が経ったものはあげないようにしている。保管場所調理用具など適宜、消毒し清潔にしている。		食事を扱う前は必ず手洗いする。 消費期限など必ず確認する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門扉がなく自由に出入りが出来るようになっている。		玄関先に花を植えるなど工夫している。 近隣の人とボランティアで草取りなどに参加している。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	飾り付けや四季折々の花などを飾るようにしている。テーブルやソファなど自宅に置かれているような物を使用している。		清潔を持ち季節感が分かる花や物など取り入れる。入居者全員が集うホールがあり、ゆっくり出来るスペースがある。

グループホーム フェニックス苑

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファー、テーブルイスなどあり思い思いに好きな場所でゆっくりしたり、テレビを観たり出来るようにしている。		入居者一人ひとりが好きな場所でゆっくり出来るように家具の配置なども考え行っている。
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの日用品などを置いている。各部屋にテレビを置き、好きな時間に見れるようにしている。		家具も危なくないよう使いやすい位置に置き、テレビなど観やすいようにしている。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓は危なくないよう開くようになっている。エアコンなど状況に応じてこまめに調整する。		エアコン、ファンヒーター等必ず換気しながら使用する。状況に応じ使用する。調整する。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	脚力強化、転倒防止などの為に手擦りを設置している。		手擦りの設置、家具の配置、トイレ等の配置など安全で自立して使用できるように配置など工夫している。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各部屋に名札を使用したり飾り付けしたり、トイレ等、場所が分かるようにしている。		場所など分からなかった時、否定せずにその度誘導する。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に花や食物を植えたりして、水やりなど活動出来る様にしている。		四季折々の花や食べ物を植えて育てる事で、活動し楽しむ事が出来るようにしている。

グループホーム フェニックス苑

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム フェニックス苑

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き生きと働いている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 木造建築の家庭的雰囲気と閑静な環境のもと、ゆっくりとした日常生活を送っていただいている。
- ・ 個人個人の持ち味を生かし、趣味、特技を主とする。その人らしい生き方をして頂く。
- ・ 医療との連携により健康管理を十分に行い安心して暮らして頂く。
- ・ 年長者として敬いの心を持ち介護に取り組んでいる。
- ・ 季節を感じる行事を取り入れることによりメリハリのある生活をして頂いている。